

第5回大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 概要

日時：平成28年3月29日（火）

午前10時

場所：大井町役場303・304会議室

出席者：清水豊司委員、鈴木武夫委員、橋本淑子委員、武井孝市委員、田村俊二委員、
中村義夫委員、山地裕昭委員、西山健一委員、熊澤博之会長、芦川智委員、
飯田文人委員、池田大介委員、山田行雄委員

欠席者：植松清治委員、柳川武夫委員、遠藤かえで委員、君塚喜一委員

事務局：川野治企画財政課長、立川悟企画財政課主査、田中元清（ランドブレイン株式会社）

1 開会

熊澤会長よりあいさつ

2 議題

(1) 平成27年度大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

- ・事務局より平成27年度中に開始した事業の概要を説明。（資料1）
- ・委員より特に質疑なし。
- ・事務局より地方創生加速化交付金に係る実施計画について説明。（資料2）

【意見・質疑】

- 地方創生加速化交付金について、広域連携事業として実施する『未病の戦略的エリア「未病いやしの里」構築事業』の総額はいくらで、そのうち県はいくらか。
→ 総額は県と2市8町あわせて173,798千円。そのうち県分は80,490千円。
- 県が未病の事業に取り組むのは良いが、単独の交付金の内容にはサテライトオフィスの話も含まれており、本来はブルックス自身に取り組むべき内容ではないか。1企業に対して、町がそこまで支援する必要があるのか、という思いがある。未病いやしの里センターでは、本当に大井町のためになることをやってもらいたい。
→ 未病対策は県知事の進める重点事業であり、未病いやしの里センターの具体的な中身は基本計画が決定してからになるが、都市計画制度との関係で平成29年6月以降には動きが出てくる。それまでの間は、PRを中心に進めていこうとしている。県や2市7町とは取り組み方が異なるが、平成28年度はPR中心で考えている。
また、1企業に対してというご意見があるが、ブルックスと大井町の共同提案事業でもあり、町としても、できることに取り組んでいきたい。そのため、町の単費では実施が困難な事業を地方創生の交付金を活用して実施する。

- 大井町は、都心に近い地方で交付金が付きにくいという話も聞いていたが、その中で県が実施したいというのなら、事業が進むとは思いますが、未病いやしの里センターには県の施設が入るのか。できれば入ってほしいが。
 - 県の展示施設がいやしの里センターのメインとなる。ただし、県の職員を配置するのではなく、委託で運営すると考えている様子。
- それぞれの役割を明確にして取り組んでほしい。
- 広域連携事業のあしがらローカルブランディングは総額いくらか。
 - 1市5町で総額 36,680 千円。
- フェイジョアに関して、現在、栽培している人は何人いるのか。交付金が付くのは単年だけだし、しっかり取り組んでほしい。
 - 担当課調べで、5～6名程度と聞いている。しかし、栽培方法が確立されておらず、収穫量が低い。担当課や関係者で先進地視察に行ったところ、栽培方法などが確立されており、大井町のものより桁が違う単価で販売されている。ポリフェノールなど、体に良い成分が多く含まれている部分のPRも含めて、栽培方法や貯蔵技術を確立していきたい。
 - 未病いやしの里センターに関して補足すると、現在、県と大井町とブルックスの3者で基本計画を作成中であり、委員会を組織して、住民の方や関係者の意見を聞きながら進めていきたいと考えている。
- ご当地弁当のブラッシュアップとあるが、重要なのは、製造する体制やどこで売のかなど、具体的に決めていかなければならない。どう考えているか。
 - ご当地弁当の四季シリーズ化をはじめ、まさに、今ご指摘の点について、検討し、ブラッシュアップを図っていきたいと考えている。
- なにかとカタカナ・横文字が多い。町民の方にはわかりにくいと思うので、配慮してほしい。未病についても、未病を治すとかよく使われているが、「未病」とは何かについての広報がもっと必要と思う。
 - 確かに、サテライトオフィスとかカタカナが多いと思うのでわかりやすいような表現をしていきたい。「未病」については県も様々な形でPRしているが、町としてもPRしていきたい。

(2) 大井町まち・ひち・しごと創生総合戦略の改定について

- ・事務局より大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定案を説明。(資料3)

【意見・質疑】

- フェイジョアについて、目標値が上がったというのは良いと思うが、今、新たに植えても4～5年経たないと実が成らない。単価を上げていくと言うのは、例えば100円のものを1,000円で売るとするのはわかるが、4年後の平成32年で、量についてはすぐに収穫量が増えるわけではないと思うが、収穫量についての可能性はあるのか。
 - 現在、大井町のフェイジョアは、一本の木から10kgに満たない収穫があるが、先進地では、より多くの収穫がある。そのため、収穫量を10kg/本として、300円/kgの単価を2,000円/kgに引き上げるなど、基本的には単価を上げることでKPIを積み上げている。

- 植える努力も必要で、爆発的に植えるとかしないと収穫量も増えない。植える目標も立てたほうがよい。
- 農業体験指導者育成人数について、40人増やすというのは、誰を増やすのか、町で認定するのか。
 - 主としては地域の方々に、救急蘇生法の取得をはじめ、農業体験に安全に来てもらうための研修を受けてもらうことを考えている。
- 地元の人だけでなく、役場の人も研修を受けた方がよいと思う。また、フェイジョアに関する指導者も必要と思う。
- フェイジョアについて、まだ十分に知られていないのでは。町内の人でも知らない方がいる。活性化していくためには、もっとPRが必要。
- フェイジョアに関して、ちょっと目標が大きすぎる気もするが、是非頑張ってもらいたい。改定案について、承認するということがいかか。
- 異議なし（委員一同）

- 本町とは別の話となるが、山北町が取り組んでいるSLについて、数メートル走ったとか、取り組んでいるが、御殿場線沿線の自治体で実現に向けた議論を進めているのか。
 - 関係自治体で話し合っているが、線路が重量に耐えられないなどの物理的な問題も抱えており、なかなか難しい。

(3) その他

- ・改定案については、案を除いて公表することを確認した。
- ・事務局において議事概要を作成し、委員の確認後、公表することを確認した。
- ・本推進委員会は進行管理のために来年度も開催することを確認した。

以 上